

津山郷土博物館だより「つはく」

津博 TSUHAKU

2024.8 No.121

トピックス

●企画展示

「江戸一目図屏風実物展示
—蕨斎ワールド2024—」

●ミニ企画展「博物館探険」

研究余録

●大名行列にかかる経費

東 万里子

研究ノート

●近世美作国における鶏卵について

網澤 広貴

お知らせ

●特別展

「考古資料は語る!—美作津山の古墳文化—」

【拾万石御加増後初御入国御供立之図(部分)】



津山郷土博物館

Tsuyama City Museum

令和6年度 津山郷土博物館特別展 考古資料は語る! —美作津山の古墳文化—

美作の古墳研究史は、市内日上にある明治6年に建てられた古冢碑までさかのぼり、碑文には開墾時に古墳から鏡（径五寸）などが出土したことが書かれています。美作国は備前国からわかれてあとからできました。この謎を解く鍵は前時代の古墳文化にあるのではないかと考えます。美作の中心であった津山には、美作最大や最古の前方後円墳をはじめ、陶棺といった独特の棺桶が普及するなど独自の文化圏を形成していたことが伺えます。貴重な考古資料から美作津山の古墳文化を紐解きます。

【会 期】令和6年10月12日(土)～12月15日(日)

【会 場】津山郷土博物館 3階 展示室

〈主な展示品〉

(○は岡山県指定重要文化財、◇は津山市指定重要文化財)

田邑丸山2号墳(土師器・鏡)

奥の前1号墳(円筒埴輪、土師器、鏡ほか)

柳谷古墳(○銀象嵌頭椎大刀柄頭、○同鞘尻金具、○須恵器)

殿田1号墳(◇銅鏡)、荒神西古墳(◇銅鏡)

〈記念講演会〉

(終了後ギャラリートークを開催)

講師：くらしき作陽大学音楽学部教授 澤田秀実氏

演題：美作津山の古墳文化の特質

日時：令和6年11月16日(土) 13:30～15:00

会場：津山圏域雇用労働センター(山下92-1)



古冢碑部分



銀象嵌頭椎大刀柄頭



博物館だより「つはく」
No.121 令和6年8月31日

津博
TSUYAKU

【編集・発行】津山郷土博物館

〒708-0022 岡山県津山市山下92

Tel (0868) 22-4567 Fax (0868) 23-9874

E-mail tsu-haku@tvt.ne.jp

【印刷】有限会社 弘文社

入館のご案内

【開館時間】午前9:00～午後5:00

【休館日】毎週月曜日・祝日の翌日

・年末年始(12月29日～1月3日)・その他

【入館料】一般…300円(30人以上の団体の場合240円)

高校・大学生…200円(30人以上の団体の場合160円)

65歳以上…200円(30人以上の団体の場合160円)

中学生以下・障害者手帳を提示された方は入館料が無料です

